

## こんなときに

- 壁や柱などの造作物の反射を考慮した計算がしたい

## 遮光面の設定

### STEP1 遮光面の作成 (例: 柱を4本作成します)

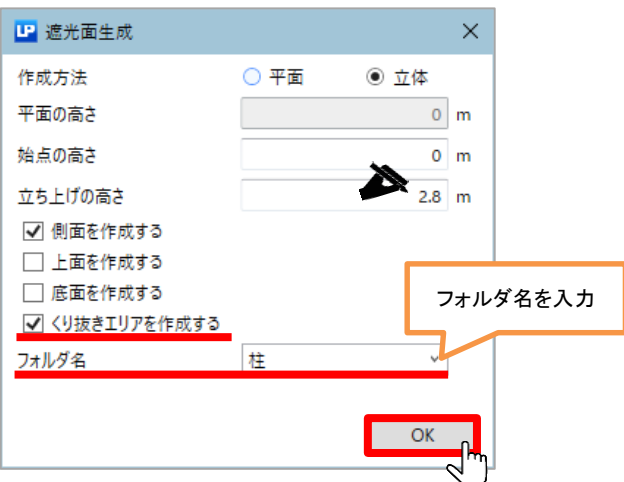
#### STEP1-1

部屋名を選択、「挿入」-「遮光面」-「長方形」をクリックし、遮光面を作成します。

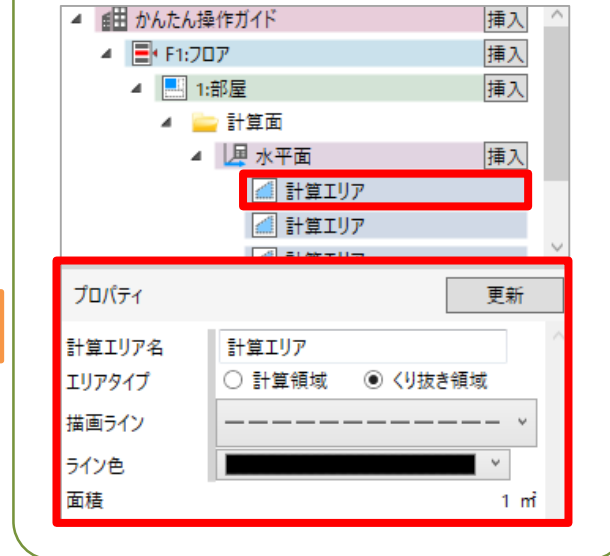


#### STEP1-2

「遮光面生成画面」で遮光面の設定を行います。「くり抜きエリアを作成する」にチェックを入れ、後で管理しやすいようにフォルダを作成しておきます。



くり抜きエリアの設定は、「部屋」-「計算面」-「水平面」-「計算エリア」から可能です。

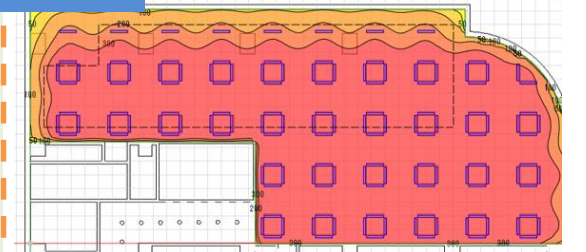


#### 【くり抜きエリアについて】

※かんたん操作ガイド「エリアの作成」より抜粋

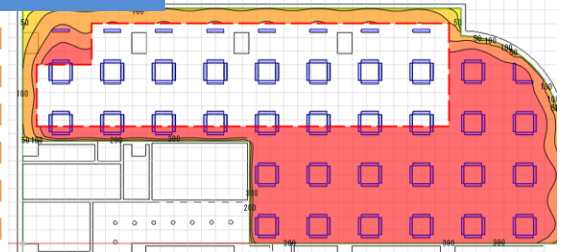
くり抜きエリアを作成しておくと、2種類の計算方法が選択できるようになります。

#### 【計算領域】



計算エリアの範囲内にある計算点で計算します。計算結果は、全体とエリア部分の2つが表示されます。

#### 【くり抜き領域】



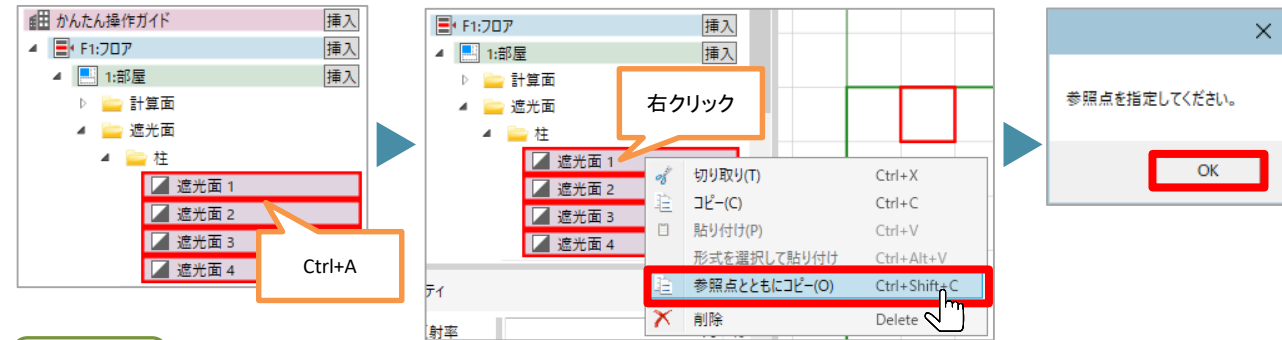
くり抜き領域に設定した範囲内の計算点を除外して計算します。計算結果は、「全体」のみ表示されます。

### STEP2 遮光面の複製 ※遮光面の数を増やすと計算時間が長くなります。

#### STEP2-1

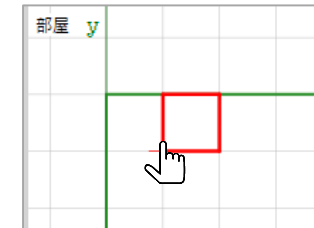
残りの柱を遮光面の複製で作成します。遮光面を選択し、Ctrl+Aを押して全選択します。

※計算エリアは複製されません。  
※作成方法については別紙かんたん操作ガイド「エリアの設定」を参照ください。

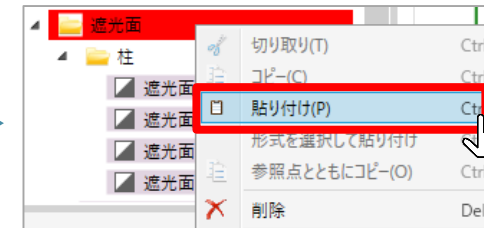


#### STEP2-2

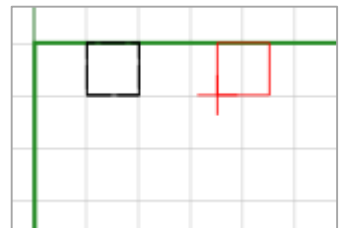
参照点を選択します。



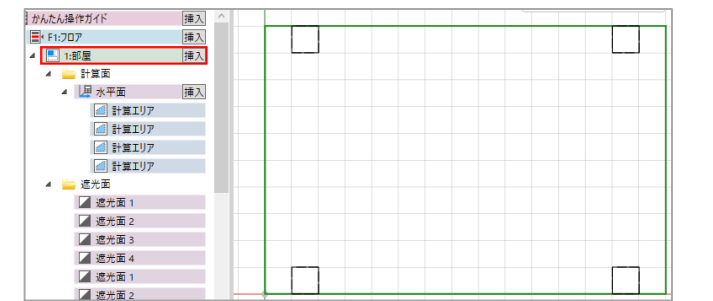
「遮光面」を選択し、右クリックで「貼り付け」を押します。



任意の場所にコピーできます。



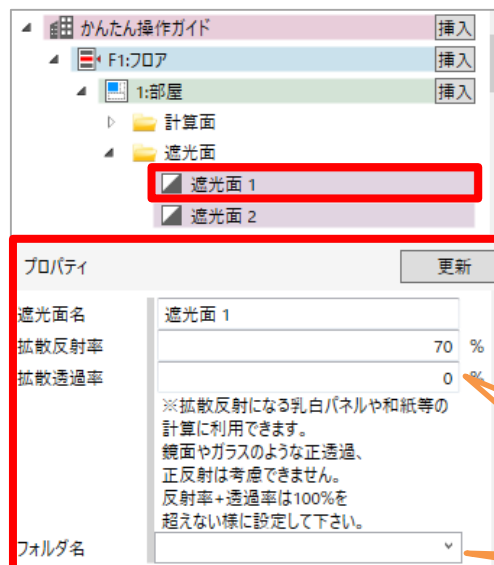
残りの柱も同様にコピーします。



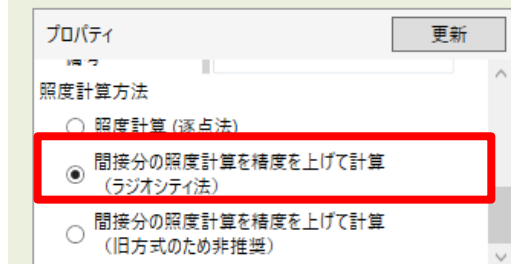
詳しい操作方法は  
通常版マニュアルで  
【ヘルプ】からアクセス！

### STEP3 遮光面の反射率等の設定

各遮光面の拡散反射率、拡散透過率を入力し「更新」ボタンクリック後、計算します。



【参考】  
・遮光面を作成すると計算方法が自動的にラジオシティ法に切り替わります。  
ツリー「部屋」-「プロパティ」



拡散反射率と拡散透過率は合計して100%を超えないように設定します。拡散反射率については、下記リンクをご参考ください。

または、「パナソニック 各種材料反射率」で検索！

柱の作成と変更ができます。